



あいじつ



開校144周年

校門でのあいさつ

副校長 原島 謙一

新年度がスタートして、約1か月が過ぎようとしています。そして、1年のうちでも最も爽やかな季節となりました。4月には、学校公開を行いました。進級し多くの子が意欲的に頑張っている姿を見ていただけたのではないかと考えております。

毎朝の校門では、教員だけでなく地域協働学校運営協議会の福地さんや神山さんをはじめ育成会、民生委員、牛込母の会の皆様のご協力をいただき、地域の方々とともに子どもたちを出迎えると爽やかなあいさつが返ってきます。まだ、マスクが取れない子もいますが、大きな声であいさつする人の顔を見て、気持ちのよいあいさつをしている子が多く見られます。また、校舎内でも立ち止まり、心を込めて気持ちのよいあいさつをしてくれる児童もいます。そんな時には、一日のエネルギーをもらえたような気になります。

人と人が出会ったときに、一番初めにすることがあいさつです。このあいさつで、相手の印象が決まります。第一印象は、最初の3秒で決まると言われています。また、心理学で「メラビアンの法則」と呼ばれるものがあり、人の行動が他人にどのような影響を与えるかを判断した実験から導き出されたものであり、コミュニケーションをとる際に、視覚情報が55%の割合で影響を与えると言われています。ですから、最初に出会ってあいさつをする時には、相手の顔を見ながら笑顔でできると更に人間関係がよくなると言えます。ぜひ、気持ちのよいあいさつの輪が広がることを願っています。

愛日スポーツフェスタについて

スポーツフェスタ担当 富樫 孝太郎

今年度のスポーツフェスタは、6月15日(土)です。昨年度同様、1・3・5年生は団体競技、2・4・6年生は表現運動を行います。全員で一つの競技に一生懸命に取り組む姿や心を合わせて演技に取り組む姿を保護者の方々や地域の方々にもご覧いただきたいと思っております。

児童の人数の関係で、全員で校庭に集まって実施することは難しいですが、少しでも一体感の感じられる、愛日小のスポーツフェスタにできればと思っております。

27日(火)よりスポーツフェスタ時程が始まります。厳しい暑さが予想されますので、着替えや水筒、汗拭きタオルの準備をお願いします。

縦割り班活動について

縦割り担当 東瀬 愛子

愛日小では、異学年にわたる遊びの活動を通して人間関係や連帯感を育てることを目的につくられた縦割り班があります。一年生から六年生までの児童、約16人で編成されています。

今年度はあいじつ子ども園と長延保育園の園児が参加する「なかよしの日」に加えて、朝の時間や授業時間を活用して実施します。内容は五・六年生が事前にたてわり会議を行い考えていきます。

第一回は5月20日(月)です。高学年の姿を見て、他学年の児童も自分たちの役割を理解して楽しく活動できるようにしていきます。